

10月5日 「都民の日と世界教師デー」

先週の木曜日、10月1日はお休みでした。どうしてお休みだったのか、分かりますか、そう「都民の日」でした。

そこで、どうして10月1日が都民の日になっているのか、調べてみました。

10月1日に関係する出来事が起こったのは、明治時代のことです。1898年、明治31年の10月1日、市長をもつ東京市ができました。今は「東京市」というのはありませんが、昔は「東京市」があったのです。その東京市では、明治31年までは、国から命じられた人がリーダーになっていましたが、このときから、自分たちが選んだ市長が、東京市のリーダーになりました。

1922年、大正11年に、10月1日が「自治記念日」となりました。「自治」というのは、簡単に説明すると、「自分たちのルールは、自分たちで話し合って決めて、みんなで守る」ということです。

1952年、昭和27年に、「自治記念日」は「都民の日」となりました。市長を置けるようになった日を、都民の記念日にするということから、「自分たちのことを自分たちできめるのは大事」ということが分かります。こういうことから、10月1日が都民の日となったというわけです。

都民の日のようにお休みになる日だけでなく、実は毎日、何かの記念日になっているということを知っていますか。玄関に「今日は何の日 こどもカレンダー」というのが貼ってあります。これを見ると、毎日何かの記念日になっています。では、今日10月5日は、何の日でしょうか。

10月5日は「世界教師デー」という記念日なのだそうです。世界中で、子供を教育することや、教育に携わる先生の仕事の大切さを見直していこうという日になっています。そして、先生に、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える日でもあります。今日、この場にも、皆さんがお世話になっている先生がたくさんいます。

「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられるといいですね。

10月1日

と みん ひ

都民の日

どうして都民の日は 10月1日？

1898年(明治31年)10月1日 市長をもつ東京市ができる

1922年(大正11年)10月1日 **自治記念日**

「自分たちのルールは、自分たちで話し合って決めて、みんなで守る」ということ

1952年(昭和27年)10月1日 **都民の日**

自分たちのことを
自分たちできめるのは
大事なんだね



10月5日

きょう なん ひ

今日は何の日？



世界教師デー

先生に「ありがとう」をつたえよう！！